

都立光丘 高等学校 令和6年度（1学年用）教科

教 科： 芸術 科 目： 音楽 I

## 芸術 科目 音楽 I

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ MOUSA1

)

教科 音楽 I

## の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、表現するための技術を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり芸術のよさや素晴らしさを深く味わうことができるようとする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むと共に、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊かな情操を培う

科目 音楽 I

## の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽の表現について理解を深め、音楽記号を理解しそれに基づき表現方法を工夫し、創造的に表すことができるようとする。	楽曲のよさや美しさに気づき、明確な意図をもって表現の工夫を行えるようとする。また、楽曲を理解し、表現につなげられるようとする。	主体的に音楽の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め芸術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当時数
		歌	器	創					
1学 期	【校歌】校歌を通じて、歌詞の中に ある建学の精神や校風を理解し、表 現する。	メロディーの音取り。階名唱、楽 語の理解。歌詞の内容。	○	○	【知識】歌詞の意味を理解し、歌唱する。 楽語を理解する。 【技能】楽語を理解し表現できる。 フレーズをきれいに歌えている。 【態度】主体的に活動に取り組もうとして いる。	○	○	○	8
	【3大テノールの鑑賞】3大テノール を鑑賞しそれぞれの声の特質を感じ 味わいながら鑑賞する。また、テ ノール歌手の歌い方を参考に自分の 歌い方の参考にする。	3大テノールの3人の名前を覚え る。また、それぞれの特質の声を 捉える。また、歌い方を参考にする。	○	○	【知識】3大テノールについて、人物名、 声質を理解する。 【技能】イタリア語の発音、歌い方を フレーズをきれいに歌えている。 【態度】主体的に活動に取り組もうとして いる。	○	○	○	4
	【リズム】音符と拍子について基礎 知識を学びリズム創作を通じて簡単 なリズム譜を読めるようにする。	音符と拍子について理解する。拍 子の中にリズムを創作できるよう にする。ペアと共同してリズムを 創作して演奏する。	○	○	【知識】音符の種類、長さ、拍子の意味 について理解している。 【技能】拍子の意味を理解してリズム 創作ができる。 【態度】主体的に活動に取り組もうとして いる。	○	○	○	11
2学 期	【ギター】ギターの基礎的な知識、 アルペジオの奏法を身につけ、弾き 語りができるようにする。	弦のチューニングなどギターの基 礎知識を理解する。アルペジオ奏 法について学び自身でギターを歌 いながら演奏できるようにする。	○	○	【知識】ギターのチューニングや奏法に ついて理解している。 【技能】アルペジオ、コード弾き両方 演奏できる。 【態度】歌とギター、弾き語りを主体的 に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	【合唱曲】既存の合唱曲に取り組 み、ほかの声部とのかかわりを聴き ながら歌う。	各パートの声部のメロディーを覚 え歌えるようにする他声部との聴 きながら曲を仕上げていく。	○	○	【知識】パートのメロディーを階名唱で 歌え、楽語を理解できる。 【技能】自分のパートを正しく歌えてい る。また、他声部を聞くことができる。 【態度】主体的に活動を取り組もうとして いる。	○	○	○	13
3学 期	【自由発表】グループで取り組む曲 を決め、その曲の完成に向けてグ ループで協力する。	各グループの決めた曲に取り組 み、楽譜を読み解きながら正しく 演奏できるようにする。発表をお互 いに聞きながら良いところを共 有する。	○	○	【知識】グループごとの曲の楽譜を読み 解くことができる。 【技能】自分のパートを正しく演奏する ことができる。全体としても できる。 【態度】主体的に活動を取り組もうとして いる。	○	○	○	20